

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務Ⅱ Travel Agency Work-Domestic Travel II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(旅行業務取扱管理者試験必修)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、旅行関連法規				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
下山 和生	講師室			授業中に指示します
授業の概要				
前期で学んだ旅行業法・旅行業約款、国内旅行実務の知識をさらに深め、交通機関の運賃・料金、宿泊機関の規則や計算の方法および国内観光資源を学ぶ。また、国家資格である「国内旅行業務取扱管理者試験」にも対応するものとする。				
授業の目標				
①各種運送・宿泊機関の運賃・料金の計算をできるようにする。 ②観光資源への知識を習得できるようにする。 ③旅行業法・約款の内容を習得できるようにする。 ④国家試験合格レベルに達することができるようにする。				
授業の方法				
理解を深めるための演習問題への取り組み、および解説を主体とし、「国内旅行業務取扱管理者試験」の合格を目指す。				
学習の成果（学習成果）				
前期で学んだ国内旅行実務の知識をさらに深め ①JR・航空・私鉄などの交通機関の運賃や料金の算出の仕方および宿泊機関などの料金の算出方法を身に付けることができるようになる。 ②旅行業法・約款、観光資源を併せて学び、旅行業として必要な知識を習得する。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	旅行業法（2015年度過去問出題・解説）			
第2回目	約款（2015年度過去問出題・解説）			
第3回目	国内観光資源（2015年度過去問出題・解説）、および国内運賃料金（2015年度過去問出題・解説）			
第4回目	国内観光資源（2014年度過去問出題・解説）、および国内運賃料金（2014年度過去問出題・解説）			
第5回目	旅行業法（2014年度過去問出題・解説）			
第6回目	約款（2014年度過去問出題・解説）			

第7回目	国内観光資源（2013年度過去問出題・解説）、および国内運賃料金（2013年度過去問出題・解説）	
第8回目	国内観光資源（2012年度過去問出題・解説）、および国内運賃料金（2012年度過去問出題・解説）	
第9回目	旅行業法（2013年度過去問出題・解説）	
第10回目	約款（2013年度過去問出題・解説）	
第11回目	国内観光資源（2011年度過去問出題・解説）、および国内運賃料金（2011年度過去問出題・解説）	
第12回目	国内観光資源（予想問題出題・解説）、および国内運賃料金（予想問題出題・解説）	
第13回目	旅行業法（2012年度過去問出題・解説）	
第14回目	約款（2012年度過去問出題・解説）	
第15回目	国内観光資源（予想問題出題・解説）、および国内運賃料金（予想問題出題・解説）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。必要なことはノートに取り、積極的に質問する。また、履修上の留意点・ルールをしっかりと守れていること。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	S評価の基準：S=90-100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
【参考】教科書：2016年版 U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン（U-CAN自由国民社）		
履修上の留意点・ルール		
遅刻厳禁。私語は慎むこと。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。 国家資格取得のためにも、継続的な学習が望まれます。復習は必ず行ってください。		